

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

<利用目的>

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。

尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

愛情点検



●長年ご使用の食器乾燥器の点検を!

こんな症状は
ありませんか

- 電源コードやプラグが異常に熱くなる。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 自動的に切れるはずなのに切れない時がある。
- いつもと違って異常に熱くなったり、こげくさい臭いがする。
- その他の異常・故障がある。

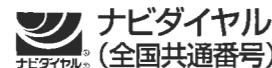
→
ご使用
中 止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号



TEL. 0570(07) 5555

TEL. 06(6262) 3561

FAX. 06(6264) 5170

電話受付時間

平日9:00～17:30 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2007年8月現在（所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）

Y708:★★★



食器乾燥器（家庭用）

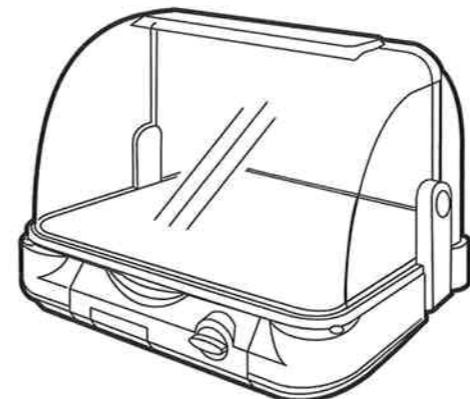
KDE-3000 KDE-4000

取扱説明書

（保証書 別途添付）

目 次

- 安全上のご注意 1～2
- ご使用上のお願い 3
- 本体の設置のしかた 4
- 仕様 4
- 各部のなまえとはたらき 5
- 正しい使いかた 6～7
- お手入れのしかた 7
- 上手な使いかた 8
- アフターサービスについて 8
- お客様の個人情報のお取り扱いについて 9



このたびはコイズミ食器乾燥器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、この取扱説明書には保証書が別途付いています。お読みになられたあとも、大切に保管してください。

小泉成器株式会社

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

!**警告**

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの

!**注意**

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの

絵表示の例



記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

!**警告**

! 定格10A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



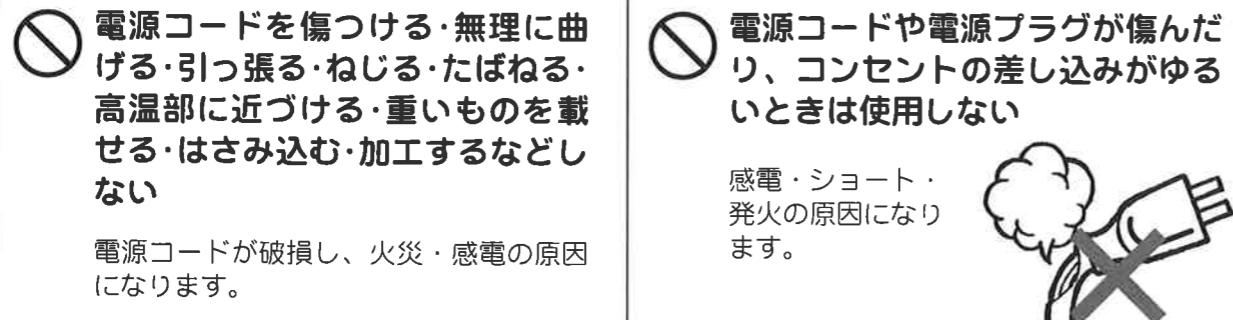
! 交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。



! 電源コードを傷つける・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・たばねる・高温部に近づける・重いものを載せる・はさみ込む・加工するなどしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



! 水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電のおそれがあります。



! 食器以外の乾燥には使用しない

火災の原因になります。



! 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火することがあります。



! ガスコンロ等の炎や熱気のある場所に置かない

変形や火災の原因になります。



! 使用中や使用後しばらくは本体内部や食器が熱いのでさわらない

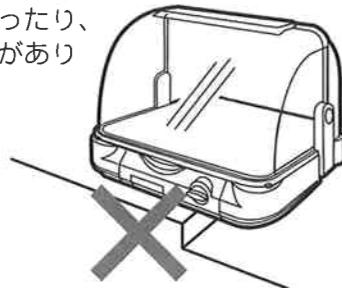
食器は十分にさせてから取り出してください。やけどのおそれがあります。



ご使用上のお願い

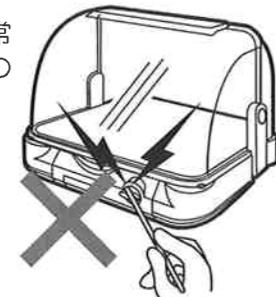
- 食器乾燥器は水平な所に置く

傾いた場所に置くと乾燥効果が悪くなったり、水もれすることがあります。



- 本体内にピンや針金等の金属物など異物を入れない

内部に触れたり、異常動作して感電やけがの原因となります。



- 電源プラグは、刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、よく拭きとる

プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



- 本体のフィルター枠やふたの排気口はふきんなどで絶対ふさがない

食器の乾燥効果が悪くなったり、熱気がこもって本体の変形、故障の原因になります。



- ガスコンロ等の炎の近くや引火性のガスボンベ、スプレー缶などがある場所では使わない

引火・爆発やショートして火災・感電の原因になります。



- 熱に弱い樹脂製食器や、ビニール袋など下記のものは入れない

● 漆器	食器などの変形・変質・破損の原因になります。
● 熱に弱いプラスチック製食器	

● 包丁、串類 くだものナイフなど	誤って指や手に触れたり、落下してけがの原因になります。
----------------------	-----------------------------

● ふきん等の乾燥	火災の原因となります。
-----------	-------------

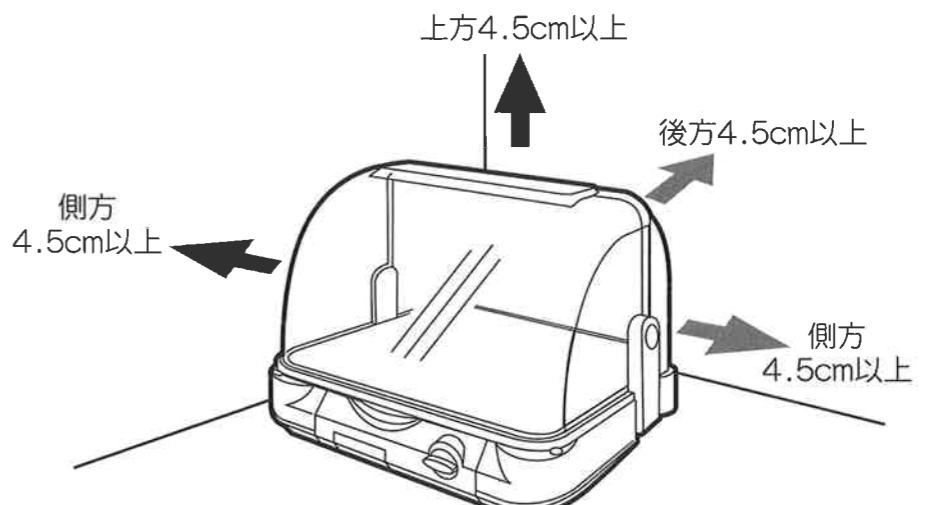


本体の設置のしかた

- 本体の前面は開放してください。

- 「安全上のご注意」(1~2ページ)をお守りのうえ、可燃物(壁や燃えやすいものなど)から下図の距離を離して設置してください。

- ワゴンなど台の上に設置する場合も同様にしてください。



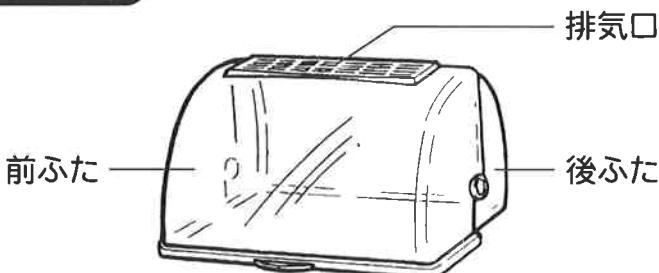
(消防法 基準適合)

仕様

品番	KDE-3000 / KDE-4000			
定格電圧	100V			
定格周波数	50Hz - 60Hz			
定格消費電力	270W			
タイムスイッチ	45分			
コードの長さ	約1.5m			
乾燥方法	温風式			
外形寸法	ふた開き時：幅477mm×奥行470mm×高さ427mm ふた閉め時：幅477mm×奥行423mm×高さ350mm			
質量(重さ) ※付属品 を含む	KDE-3000	約3.6kg	KDE-4000	約3.7kg
安全装置	温度ヒューズ・サーモスタット			
付属品	はし立て……1個			

各部のなまえとはたらき

ふた



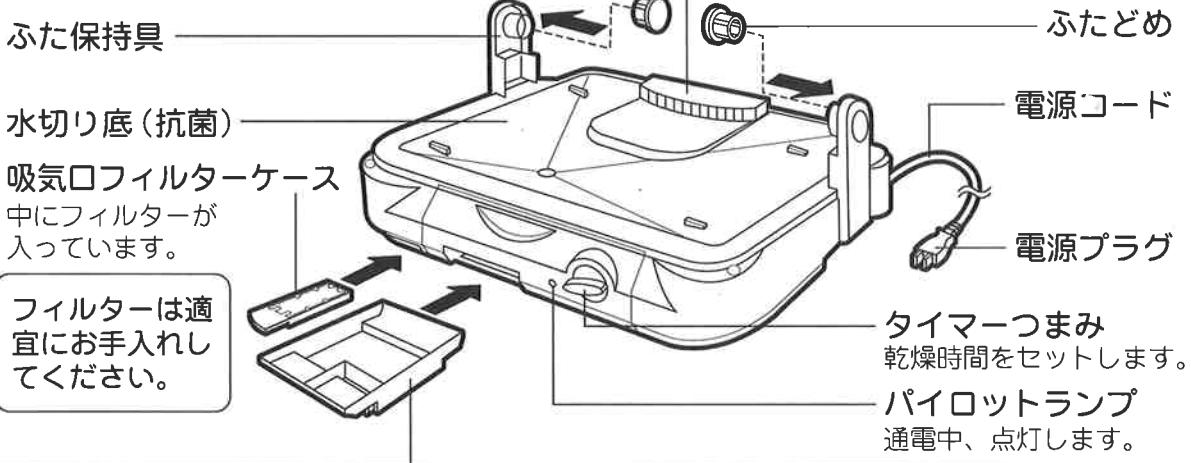
乾燥時間の目安と標準食器量

- 標準乾燥時間45分(室温20°C)
<標準食器量は6人分です>

大皿	(19~24cm)	2枚
中皿	(16~19cm)	6枚
小皿	(16cm以下)	6枚
茶わん		6個
汁わん		6個
湯のみ or コップ		6個
はし・フォーク・スプーンなど		6人分

※室温、湿度、食器の入れかたなどにより、乾燥時間に多少の差が生じます。

本体



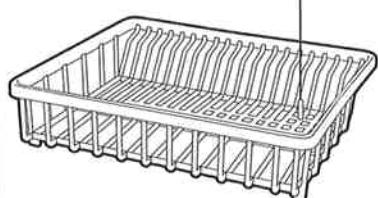
水受けカップ
食器から落ちた水がたまります。

ご使用前に水を捨て、水受けカップは必ず取り付けてください。

食器かご・はし立て

KDE-3000

抗 菌
食器かご



抗カビ
はし立て

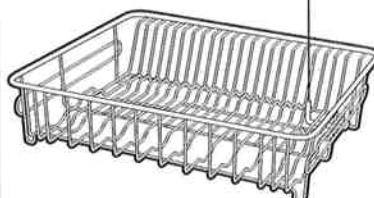


食器かごのはし立て用ピンに、はし立ての穴を合わせ差し込みます。

KDE-4000

ステンレス
食器かご

抗カビ
はし立て



食器かごのはし立て用ピンに、はし立ての穴を合わせ差し込みます。

正しい使いかた

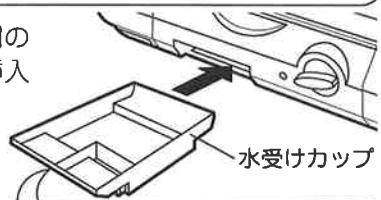
1. 水受けカップを確認する

排水ホースを使用しないとき

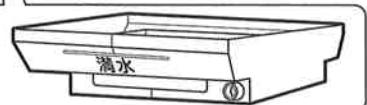
- (1)毎回ご使用前に、水受けカップ内の水を捨てます。



- (2)水受けカップは、右図の方向に奥まで確実に挿入してください。

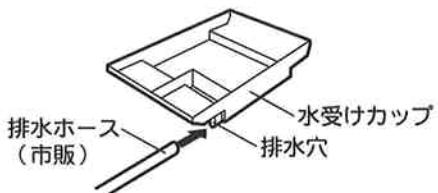


「満水」表示を手前にして入れてください。



排水ホースを使用するとき

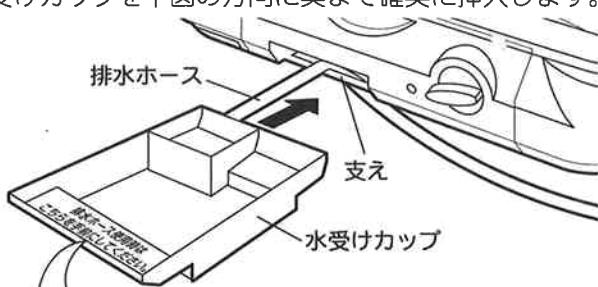
- (1)水受けカップの排水穴に排水ホースを取り付けます。



排水ホースは別売りです

市販のビニールホース
(内径7~8ミリ、厚さ0.5~1ミリ)
をお買い求めください。

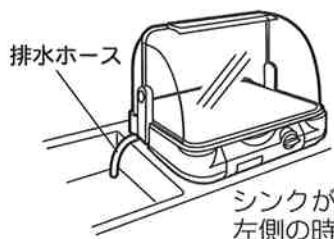
- (2)排水ホースの先端を本体の底面にある支えにくぐらせ、水受けカップを下図の方向に奥まで確実に挿入します。



「排水ホース使用時はこちらを手前にしてください。」
表示を手前にして入れてください。

- (3)排水ホースは、本体底面を通しながら右側または左側から出し、シンクに向けます。

※本体で排水ホースをつぶさないように注意してください。



2. 食器を収納する

※はし立てが食器かごにセットされているか確認してください。

※洗った食器はよく水を切ってください。

水が溜まつたまま入れると水受けカップから水があふれることがあります。

※食器かごには合計5kg以上の食器は入れないでください。

(食器かごなどの変形等の原因になります。)

※専用の食器かご以外は使用しないでください。

(専用かご以外のものは変形・故障の原因になります。)



乾燥例



注意
包丁は収納しないでください。

3. ふたを閉める

ふたを確実に閉めてください。

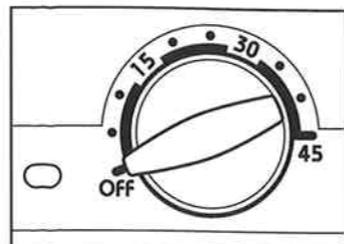
4. 電源プラグをコンセントに差し込む

5. タイマーをセットする

※タイマーは45分までセットできます。

※タイマーは20分以内にセットする時は、一度30分ぐらいまで回して、戻しながらセットしてください。

※途中で乾燥を中止するときは、タイマーフタミを「OFF」にしてください。



ご注意

- 使い始めに、少し臭いがでることがあります。異常ではありません。ご使用にともない消えますので心配ありません。
- 臭いの強い食器と一緒に入れると、他の食器や食器かごなどに、臭いが移る場合がありますので入れないでください。
- 使用中及び使用後しばらくは、本体や特に温風吹出し口カバー周辺が熱くなっています。ビニール製のテーブルクロスやじゅうたんの上では使用しないでください。(火災や敷物の変色の原因になります。)
- 温風吹出し口カバー周辺には直接手を触れないでください。(やけどの原因になります。)
- 食器や食器かごなど本体内部が熱くなっています。食器は十分さめてから取り出してください。

お手入れのしかた

お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く



やけどや感電の原因になります。
お手入れの際は、必ず電源プラグを抜き、本体がさめてから行ってください。

本体のお手入れ

本体のお手入れは、うすめた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布でふき取り、空ぶきしてください。

- 本体は直接水をかけて洗わないでください。
- 抗菌効果を持続させるために、水切り底は適宜お手入れしてください。

- 変質・変色防止のために右図のようなものは使わないでください。

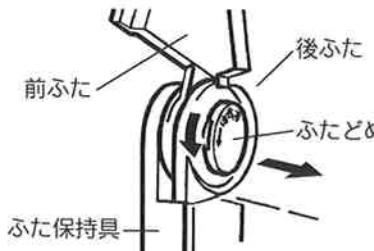


フィルターのお手入れ

フィルターや、吸気口フィルターケースの汚れは、こまめにふき取ります。汚れが目立つときは、水洗いしたあと、陰干ししてから取り付けてください。直火などでは乾燥させないでください。

■ ふたのはずしかた

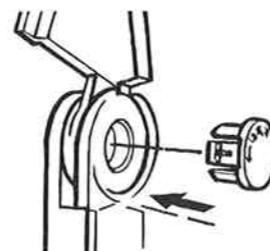
- 左右のふたどめを矢印の方向へ少し回してから引き抜きます。次に、後ふた、前ふたの順に内側にたわませてふた保持具からはずします。



■ ふたの取り付けかた

- はずしかたと逆の手順で前ふたをふた保持具に取り付け、さらに後ふたを取り付けます。

下図のようにふたどめの〈はずす〉が上になるように挿入し爪がひっかかるまで軽く押し込んでください。



上手な使いかた

- 温水で食器のすすぎを行うと、乾燥時間が短くてすみます。
- 食器は糸じりの水きりをしてから入れると、乾燥時間が短くてすみます。
- 食器と食器の重なりを少なくし、空気の流れをよくすると、乾燥時間が短くてすみます。
- 抗菌・抗カビ剤により、菌は繁殖しにくく、カビは発生しにくくなっていますが、全ての菌やカビに効果があるわけではありません。
- ぬれたままや、食物が付着したまま放置すると、菌やカビが発生することがありますのでご注意ください。



SIAAマークはJIS Z 2801に適合し、抗菌製品技術協議会ガイドラインで、品質管理・情報公開された製品に表示されています。

アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間：お買い上げ日から1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は

保証書の記載内容により、無料修理いたします。
商品に保証書を添えて内部機構をさわらずにお買い上げの販売店にご持参ください。

- 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- 食器乾燥器の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. 点検整備について

- 数年使用されると、ヒーターユニット内部が汚れ、性能が低下することがあります。
通常のお手入れとは別に点検整備（有料）をおおすすめします。
点検整備はお買い上げの販売店にご依頼ください。

- お客様ご自身での製品の分解は危険ですので、なさらないでください。

5. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「サービスセンター」にお問い合わせください。